



東京製綱株式会社  
TOKYO ROPE MFG.CO.,LTD.

**2010年3月期 第2四半期 決算説明会**

**2009年12月1日**

# 目次

2010年3月期 第2四半期 決算の概要

2010年3月期 見通し

ビジネスの現状と今後の戦略

# 2010年3月期 第2四半期 決算の概要

2010年3月期 見通し

ビジネスの現状と今後の戦略

# 2010年3月期 第2四半期 決算ポイント

## 海外需要堅調も内需停滞で減収減益

売上高

316億4,100万円（前期比  $\Delta$ 19.0%）

海外堅調も国内スチールコード停滞

営業利益

300万円（前期比  $\Delta$ 99.8%）

海外改善も国内スチールコード減益  
ワイヤー停滞

当期純利益

$\Delta$ 5億6700万円

繰延税金資産の取り崩し $\Delta$ 5億600万円を含む

# 2010年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	09/3 1・2Q	売上高比	10/3 1・2Q	売上高比	前年同期比	
売上高	39,052	—	31,641	—	△7,411	△19.0%
営業利益	1,431	3.7%	3	0.01%	△1,428	△99.8%
経常利益	1,160	3.0%	△325	△1.0%	△1,485	—
当期純利益	257	0.7%	△567	△1.8%	△824	—

繰延税金資産  
取り崩しが影響

# 主要製品の状況（10年3月期1・2四半期累計）

## スチールコード(国内)と産業機械の停滞響く

		09/3 1・2Q	→	10/3 1・2Q	
鋼索鋼線	ロープ・ワイヤ	○/△		△	エレベーターロープを除き 全般的に需要停滞
	スチールコード国内	○		×	国内タイヤコード大幅減
	スチールコード中国	○		◎	中国ソーワイヤで順調な伸び
開発製品	産業機械	◎		×	民間設備投資の減少
	道路安全施設	○		◎	安定した受注残を確保

# セグメント別の状況（売上高）

**鋼索鋼線：国内タイヤコードの不振で大幅減**

**開発製品：道路関連堅調も産業機械で減収**

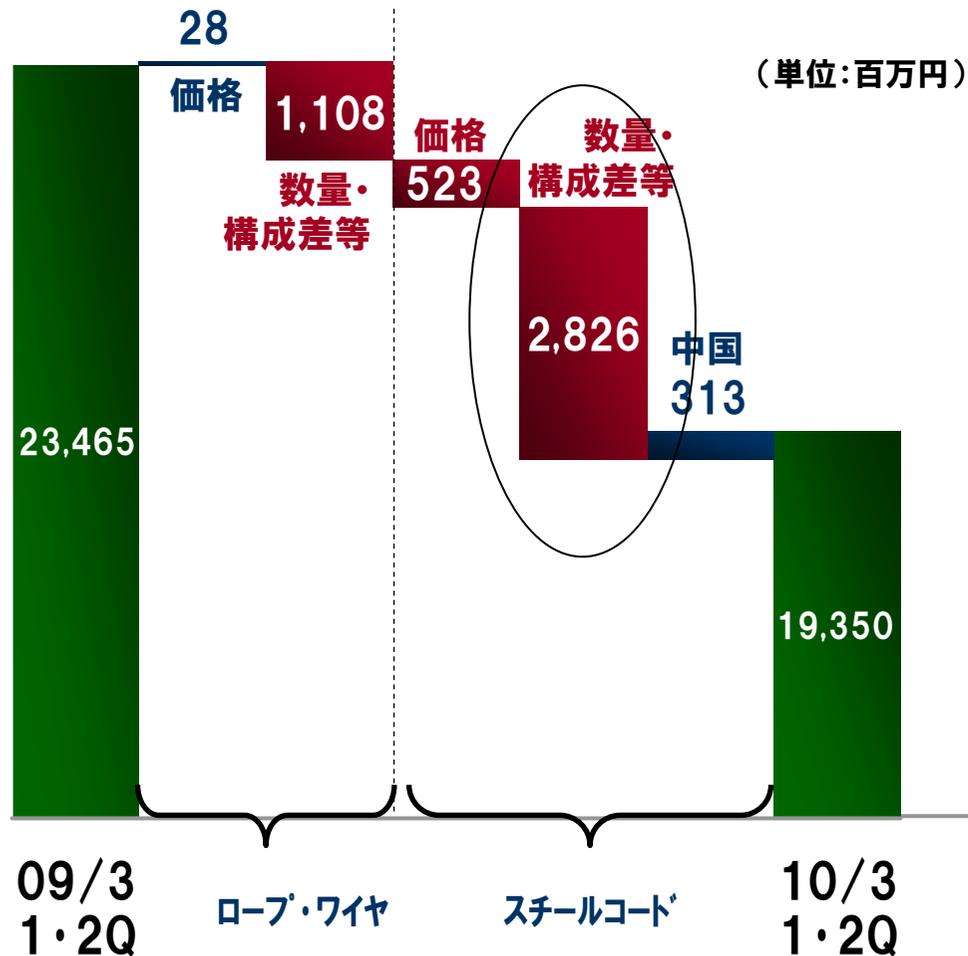
（単位：百万円）

	09/3 1・2Q	構成比	10/3 1・2Q		前年同期比	
				構成比		
鋼索鋼線	23,465	60.1%	19,350	61.2%	△4,115	△17.5%
開発製品	9,659	24.7%	8,185	25.9%	△1,474	△15.3%
不動産	704	1.8%	703	2.2%	△1	△0.1%
その他	5,222	13.4%	3,402	10.7%	△1,820	△34.9%
合計	39,052	100.0%	31,641	100.0%	△7,411	△19.0%

# 増減要因分析（売上高）

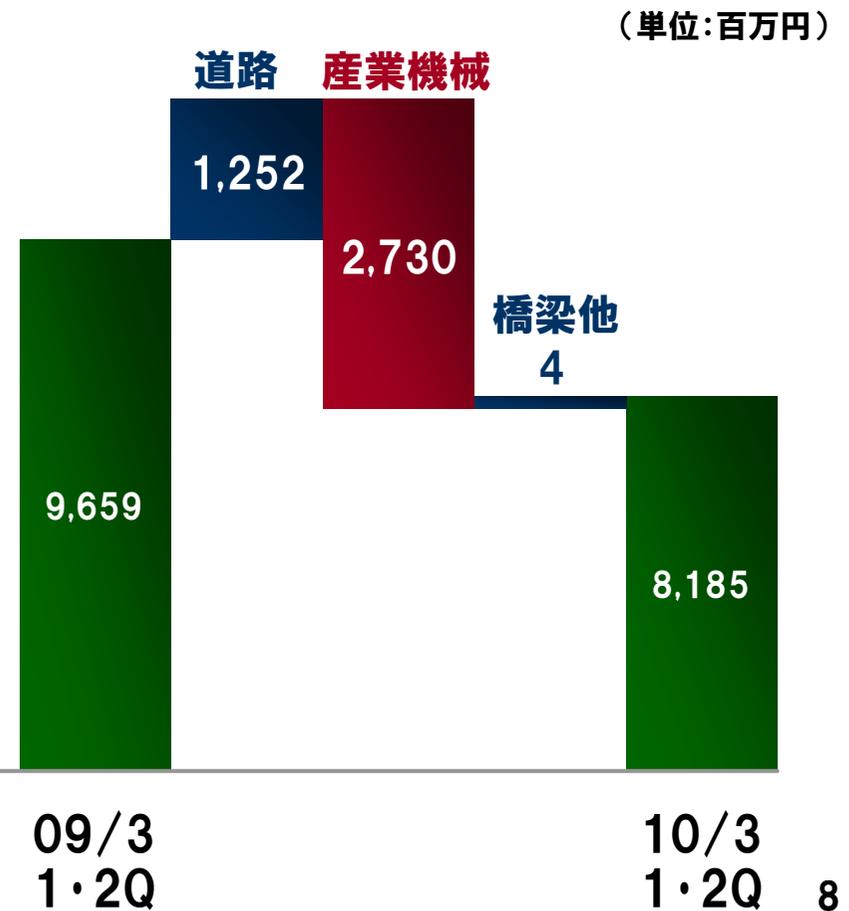
## 鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ、スチールコード  
(タイヤコード・ソーワイヤ)



## 開発製品

道路安全施設・産業機械・橋梁など



# セグメント別の状況（営業利益）

**売上高同様、鋼索鋼線は国内関係悪化、  
開発製品は道路関連好調も産業機械落ち込み**

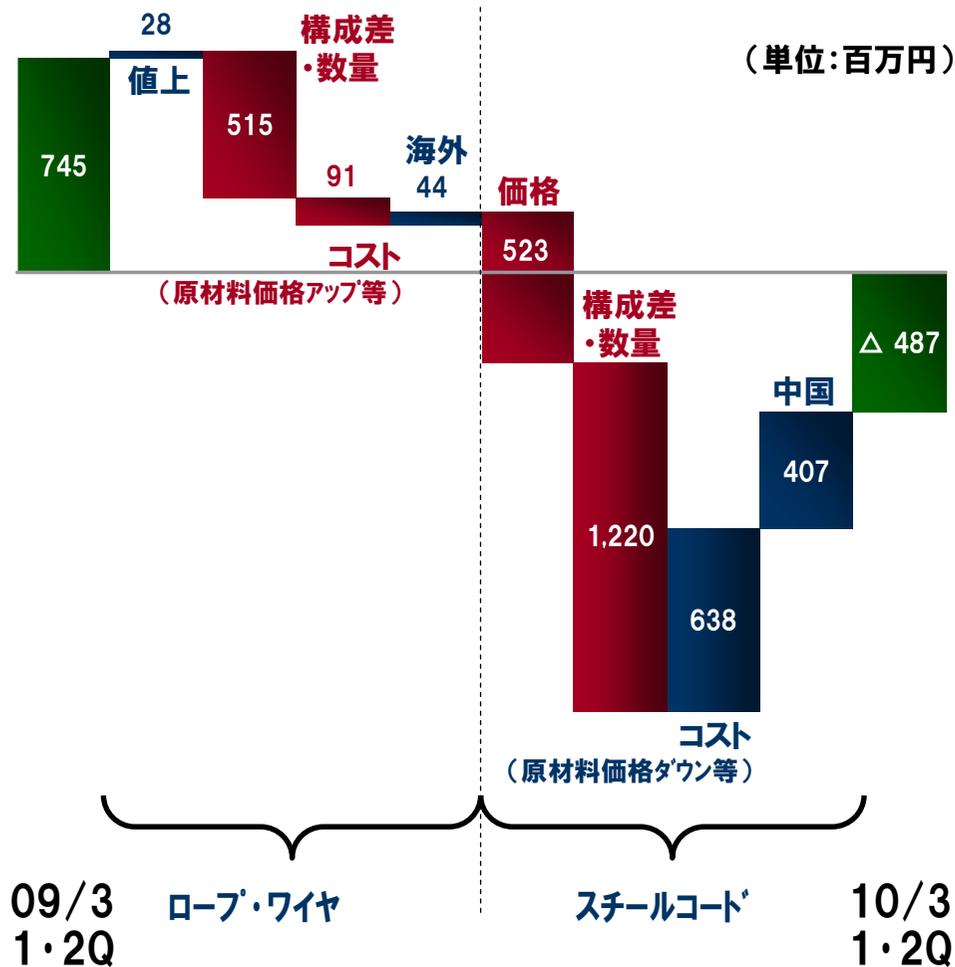
（単位：百万円）

	09/3 1・2Q	構成比	10/3 1・2Q	構成比	前年同期比	
鋼索鋼線	745	52.1%	△487	—	△1,232	—
開発製品	20	1.4%	△97	—	△117	—
不動産	405	28.4%	368	—	△37	△9.1%
その他	259	18.1%	220	—	△39	△15.1%
合計	1,431	100.0%	3	100.0%	△1,428	△99.8%

# 増減要因分析（営業利益）

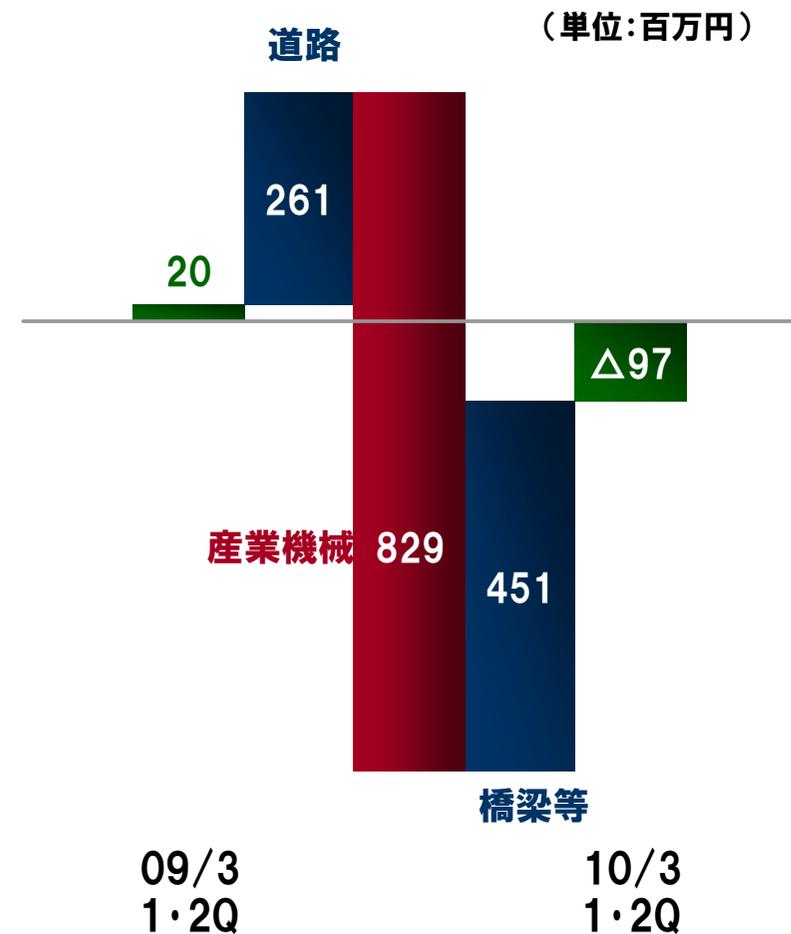
## 鋼索鋼線

ロープ・ワイヤ、スチールコード



## 開発製品

道路安全施設、産業機械、橋梁など



# 【1・2Q比較】 期間業績は回復基調

## 第2四半期の期間営業・経常損益は黒転

(単位:百万円)

	10/3 1Q	売上高比	10/3 2Q	売上高比	差異	
売上高	14,149	—	17,492	—	+3,343	+23.6%
営業利益	△388	△2.7%	391	2.2%	+779	—
経常利益	△524	△3.7%	199	1.1%	+723	—
当期純利益	△359	△2.5%	△208	△1.2%	+151	—

# 【1・2Q比較】セグメント別の状況

## 売上高

**鋼索鋼線：国内、中国ともにスチールコードが回復基調**

**開発製品：道路関連が堅調に売上を伸ばした**

(単位:百万円)

	10/3 1Q	構成比	10/3 2Q	構成比	差異	
鋼索鋼線	9,039	63.9%	10,311	58.9%	+1,272	+14.1%
開発製品	2,918	20.6%	5,267	30.1%	+2,349	+80.5%
不動産	360	2.5%	343	2.0%	△17	△4.7%
その他	1,830	13.0%	1,572	9.0%	△258	△14.1%
合計	14,149	100.0%	17,492	100.0%	+3,343	+23.6%

# 【1・2Q比較】セグメント別の状況

## 営業利益

### 2Qより全セグメント黒字化

(単位:百万円)

	10/3 1Q	構成比	10/3 2Q	構成比	差異	
鋼索鋼線	△525	—	38	9.6%	+563	—
開発製品	△246	—	149	38.0%	+395	—
不動産	207	—	161	41.1%	△46	△22.2%
その他	175	—	45	11.3%	△130	△74.3%
合計	△388	—	391	100.0%	+779	—

# キャッシュ・フロー

## 需要減で営業キャッシュ・フローが縮小

営業活動： 営業利益の減少等による影響

投資活動： 中国・ベトナムでの中長期積極投資は継続

	09/3 1・2Q	10/3 1・2Q
現金及び現金同等物の期首残高	1,891	1,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,962	198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,909	△1,389
フリー・キャッシュ・フロー	53	△1,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△991	743
現金及び現金同等物の期末残高	955	1,342

2010年3月期 第2四半期 決算の概要

2010年3月期 見通し

ビジネスの現状と今後の戦略

# 2010年3月期 年度見通し

**国内鋼索鋼線の需要停滞により減収  
通期では当期純利益を確保へ**

**売上高** : 715億円 (前期比△10.4%)

**営業利益** : 18億円 (前期比△43.6%)

(単位:百万円)

	09/3 実績	売上高比	10/3 見通し	売上高比	前期比	
売上高	79,759	—	71,500	—	△8,259	△10.4%
営業利益	3,191	4.0%	1,800	2.5%	△1,391	△43.6%
経常利益	2,344	2.9%	1,150	1.6%	△1,194	△50.9%
当期純利益	△176	—	500	0.7%	+676	—

# 2010年3月期 年度見通し（セグメント別）

## 売上高

年度ベースでは、国内需要の停滞から対前期比減収

鋼索鋼線：中国子会社・ソーワイヤは堅調を見込むも  
国内ロープ・ワイヤ、スチールコードは停滞

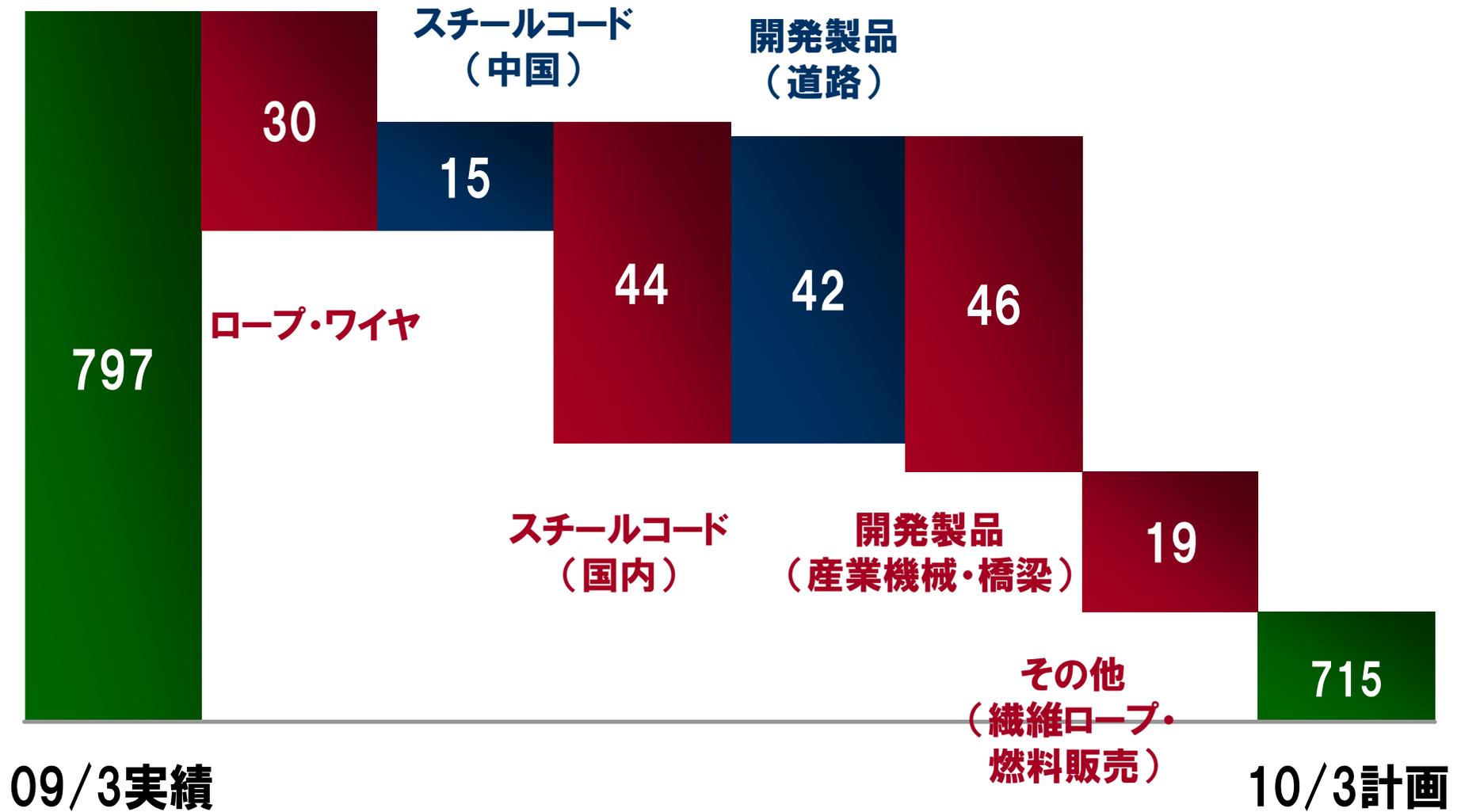
開発製品：産業機械受注減の影響を受ける

（単位：百万円）

	09/3 実績	構成比	10/3 見通し	構成比	前期比	
鋼索鋼線	45,709	57.3%	39,800	55.6%	△5,909	△12.9%
開発製品	23,396	29.3%	23,000	32.2%	△396	△1.7%
不動産	1,414	1.8%	1,400	2.0%	△14	△1.0%
その他	9,239	11.6%	7,300	10.2%	△1,939	△21.0%
合計	79,759	100%	71,500	100%	△8,259	△10.4%

# 増減見通し分析 (2010年3月期 売上高)

(単位:億円)



# 2010年3月期 年度見通し(セグメント別)

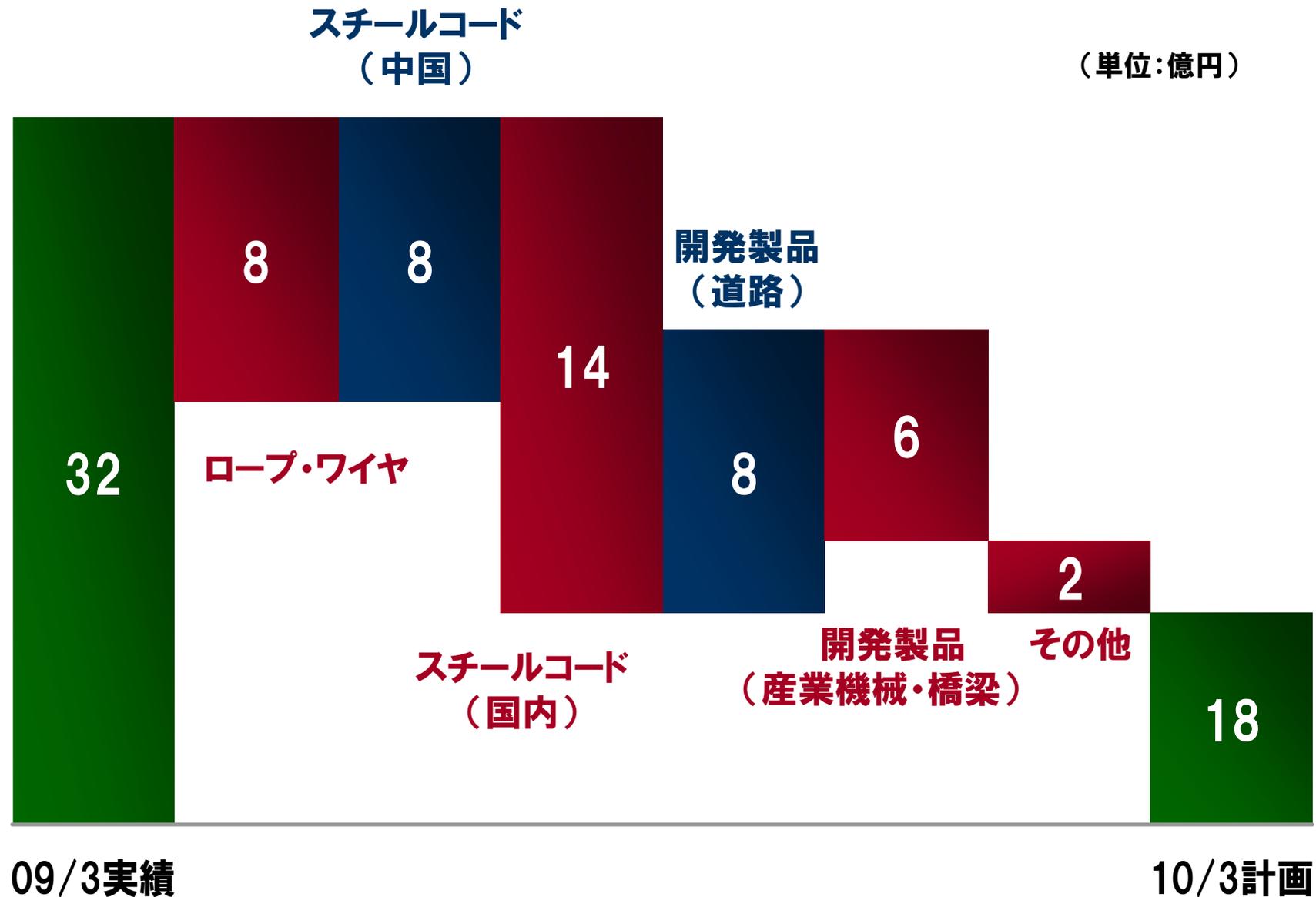
## 営業利益

鋼索鋼線の落ち込み大きく、対前期比で大幅減益

(単位:百万円)

	09/3 実績	構成比	10/3 見通し	構成比	前期比	
鋼索鋼線	1,302	40.8%	△100	—	△1,402	—
開発製品	567	17.8%	800	—	+233	+41.1%
不動産	816	25.6%	750	—	△66	△8.1%
その他	504	15.8%	350	—	△154	△30.6%
合計	3,191	100.0%	1,800	100.0%	△1,391	△43.6%

# 増減見通し分析（2010年3月期 営業利益）



# 2010年3月期 下期の主要製品見通し

## タイヤコード復調、ソーワイヤ増加、道路関係の堅調見込む

### 鋼索鋼線関連事業

ロープ・ワイヤ	・国内：需要低迷により数量ベースで下期は上期並みを見込む
タイヤコード	・国内：数量ベースで対上期比15%増加見込む(復調) ・中国： " 20% " (フル生産へ)
ソーワイヤ	・国内：数量ベースで対上期比50%増加見込む(後半フル生産へ) ・中国： " 150% " (設備増強が寄与)

### 開発製品関連事業

道路関連	：安定受注で堅調さが続く見通し
産業機械	・ワイヤソー：リーマンショック以降の需要低迷で受注減に直面、 環境の厳しさが当面継続するものと想定 ・その他機械：民間設備投資の回復感なく、横這い見込む
橋梁ほか	：下期も堅調な売上見込む

# 2010年3月期 下期業績見通し

下期は鋼索鋼線の回復と道路安全施設の堅調な伸びで  
 増収増益を見込む

(単位:百万円)

	10/3 上	売上高比	10/3 下	売上高比	差異	
売上高	31,641	—	39,859	—	+8,218	+26.0%
営業利益	3	0.01%	1,797	4.5%	+1,794	+59800%
経常利益	△325	△1.0%	1,475	3.7%	+1,800	—
当期純利益	△567	△1.8%	1,067	2.7%	+1,634	—

# 2010年3月期 下期見通し（セグメント別）

## 売上高

（単位：百万円）

	10/3 上	構成比	10/3 下	構成比	差異	
鋼索鋼線	19,350	61.1%	20,450	51.3%	+1,100	+5.7%
開発製品	8,185	25.9%	14,815	37.2%	+6,630	+81.0%
不動産	703	2.2%	697	1.7%	△6	△0.9%
その他	3,402	10.8%	3,898	9.8%	+496	+14.6%
合計	31,641	100%	39,859	100%	+8,218	+26.0%

# 2010年3月期 下期見通し（セグメント別）

## 営業利益

（単位：百万円）

	10/3 上	構成比	10/3 下	構成比	差異	
鋼索鋼線	△487	—	387	21.6%	+874	—
開発製品	△97	—	897	49.9%	+994	—
不動産	368	—	382	21.3%	+14	+3.8%
その他	220	—	130	7.2%	△90	△40.9%
合計	3	100.0%	1,797	100.0%	+1,794	+59,800%

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

**設備投資** 上半期と傾向に大きな変化なし

**国内:** 更新投資及びソーワイヤ増産

**海外:** 中国(ソーワイヤ)、ベトナムで能力増強投資

(単位:百万円)

	09/3		10/3	
	実績	前期比	見通し	前期比
設備投資額 (うち、海外)	3,372 (788)	△312	3,000 (1,300)	△372 (+512)
減価償却費	3,724	+85	3,700	△24
研究開発費	764	+19	800	+36

2010年3月期 第2四半期 決算の概要

2010年3月期 見通し

# ビジネスの現状と今後の戦略

# 大きく変化した中長期事業環境

**米国の需要減退で事業環境は大きく変化**

**日本の内需は期待できない**

**一方、中国を始め新興国の需要は伸びている**



**環境激変により、当期は現中期計画の  
計数目標未達となるも、中期施策の  
重要性は更に増大。従来以上に  
世界的インフラ整備とエコ・環境分野  
で更なる成長・拡大を狙う**

# 基本施策：成長+差別化+ビジネスモデルの変換

## 成長市場捕捉

- ・中国タイヤコード
- ・高級エレベータロープ
- ・高強度橋梁用ケーブル
- ・ソーワイヤ・ワイヤソー

## 差別化商品(工法)投入

- ・高強度ロープ
- ・ハイブリッドロープ
- ・落石防護工
- ・アクリル板遮音壁
- ・タフコーティッド製品
- ・炭素繊維複合材ケーブル

## ビジネスモデルの変換

- ・ソーワイヤ・ワイヤソーのシナジー
- ・ロープ診断システム

安全・環境・防災・省エネ

競争力の強化

ロープ流通再編

統合システム  
(Web受注)

最新設備導入  
(伸線機・製綱機)

アメーバ経営の推進  
(ロープ・ワイヤ部門)

技術力強化  
(研究所の強化)

風土改革・人材育成  
(技能度評価システム)

# 中長期成長戦略 海外市場で成長目指す

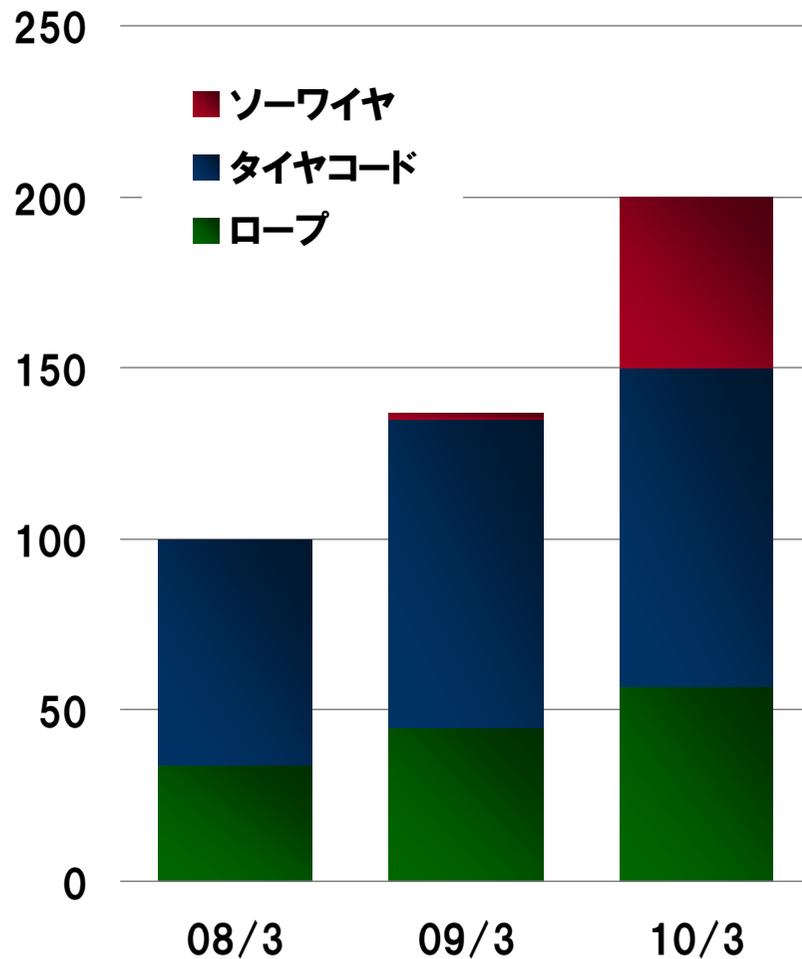
世界的なエコ・省エネ・インフラ整備にビジネスチャンスあり

国内：成熟市場の中で高付加価値品で需要掘り起こし

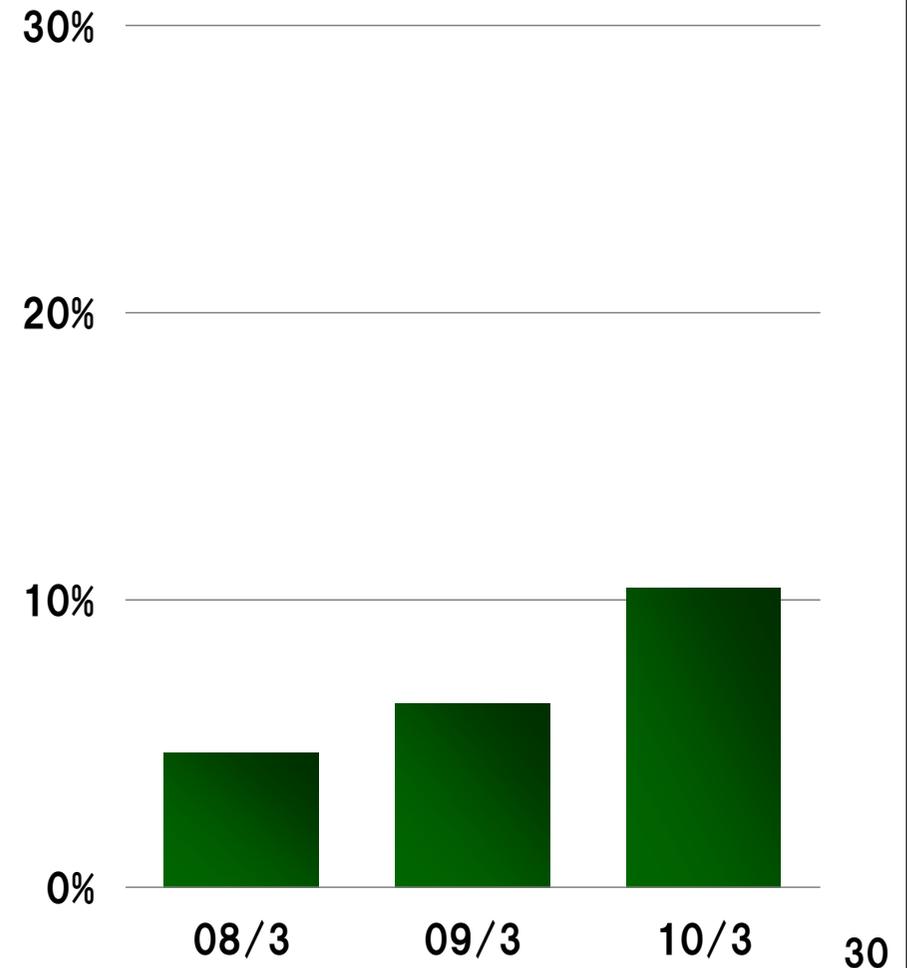
	国内	海外
ロープ・ワイヤ (エレベーターロープ)	成熟だが差別 化商品期待△	新設・取替需要拡大◎
タイヤコード	成熟だが差別 化商品期待△	中国・新興国で拡大○
太陽電池関連 (ソーワイヤ/ワイヤソー)	成長○	世界的な需要拡大◎
橋梁用ケーブル	案件減△	世界的規模でのインフラ整備◎
道路関連 (落石・アクリル遮音壁)	差別化商品で 成長期待○	

# 順調に伸びる海外事業

海外事業売上推移  
(08/3=100)



10/3 海外売上比率

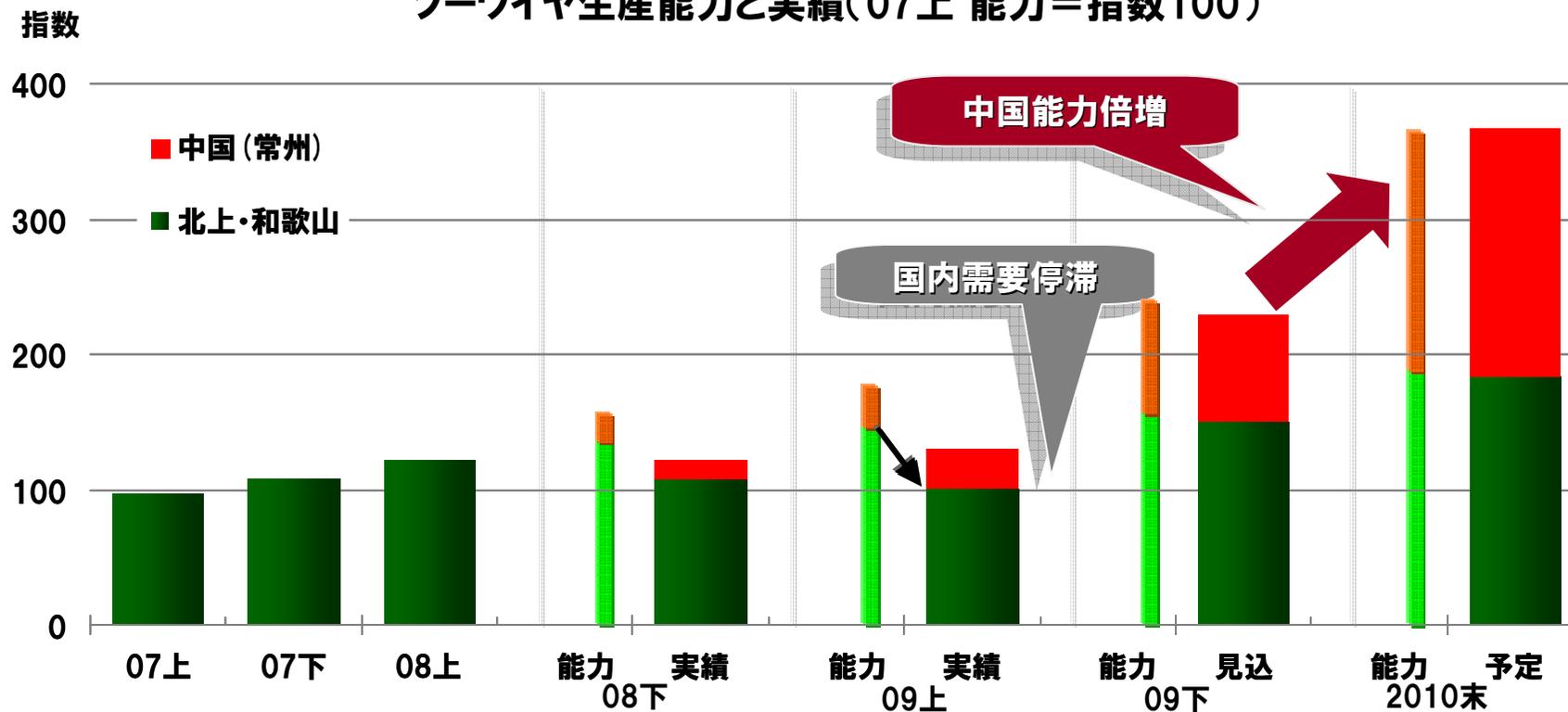


# 成長市場である太陽電池関連を今後も更に強化①

**ソーワイヤ：長年のスチールコード製造技術で培った品質、（消耗品） 細径化技術等活かし、安定かつ確実な成長**

**国内上半期は世界不況による欧州市場低迷の影響受けるも、中国中心に順調に数量増加、追加投資決定。下期は国内も回復見込む**

ソーワイヤ生産能力と実績(07上 能力=指数100)



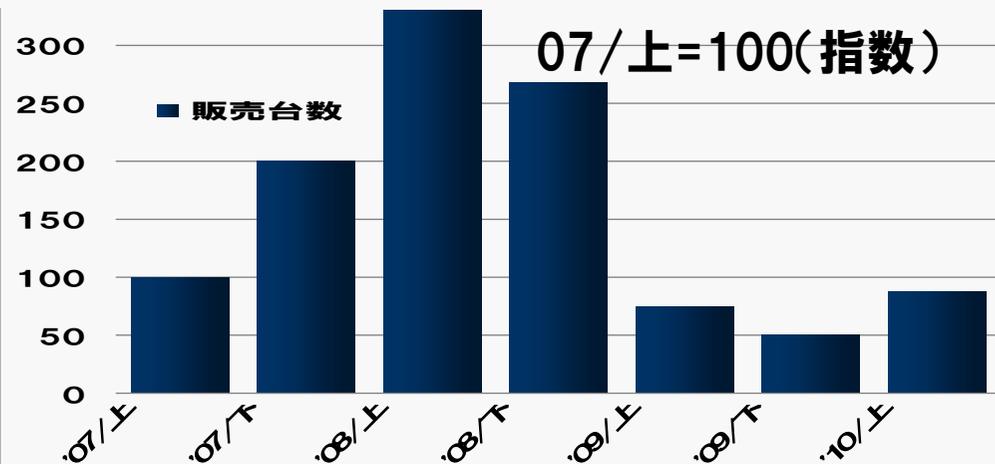
# 成長市場である太陽電池関連を今後も更に強化②

**ワイヤソー： 中長期拡大傾向に変化なきも、市場の動向（装置）を見据え、拡大戦略を継続**

なお、足許市場の本格回復には、今しばらく時間を要する見通し

**世界同時不況、欧州市場向けのシリコンウェハ輸出激減  
⇒日本/ウェハ製造能力過剰により、今期ワイヤソー受注は大幅減  
（今後、国内の余剰電力買取制度による需要の増加期待あり）  
⇒中国/足許で設備過剰感あるも高品質・高生産性機種にニーズ**

中国でのフェローテックとの提携を見直し、需要家サービスの高度化と、製品品質・技術面でのより高いシナジー体制の構築へ



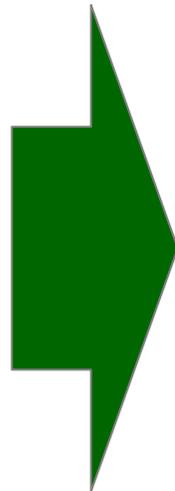
# 中国におけるワイヤー事業の再編

- ・中国は江蘇省常州市を新拠点として、再編へ
- ・国内拠点は北上機械製作所(従来どおり)

## ■新スキーム

### ■従来スキーム (中国展開)

- (1) シリコン結晶製造装置とのシナジーは主に営業面での効果に期待
- (2) 上海を生産、営業の拠点到構築  
(パートナーのネットワークを前提に構築)



(1) ソーワイヤ、砥粒と三位一体でのシナジー深化により、

- ① 需要家サービスの向上
- ② 新機種開発推進

(2) 事業単独化により、

- ① 優秀ベンダー活用を図り、低コスト実現
- ② 品質管理の徹底

(3) 当社スチールコード工場(常州)の事業プラットフォーム活用

# 海外ビジネス① 堅調な中国・スチールコード

外資系・日系タイヤ会社向け高級タイヤコード需要が旺盛

新たなワイヤソー事業のプラットフォームとして拠点活用

## 中国・常州工場の現状

- **タイヤコード**  
昨年9月に月産1,500トン体制を確立  
4月以降は順調に需要が回復、フル稼働へ
- **ソーワイヤ**  
顧客認証取得・拡販が順調に進展  
2011/3月迄の更なる増産を追加決定
- **ワイヤソー**  
新しい事業スキームを展開

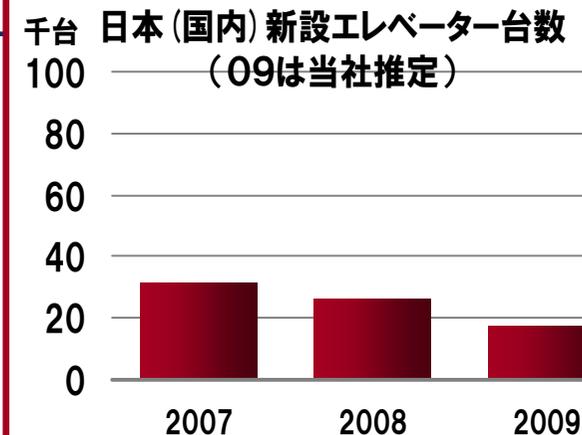
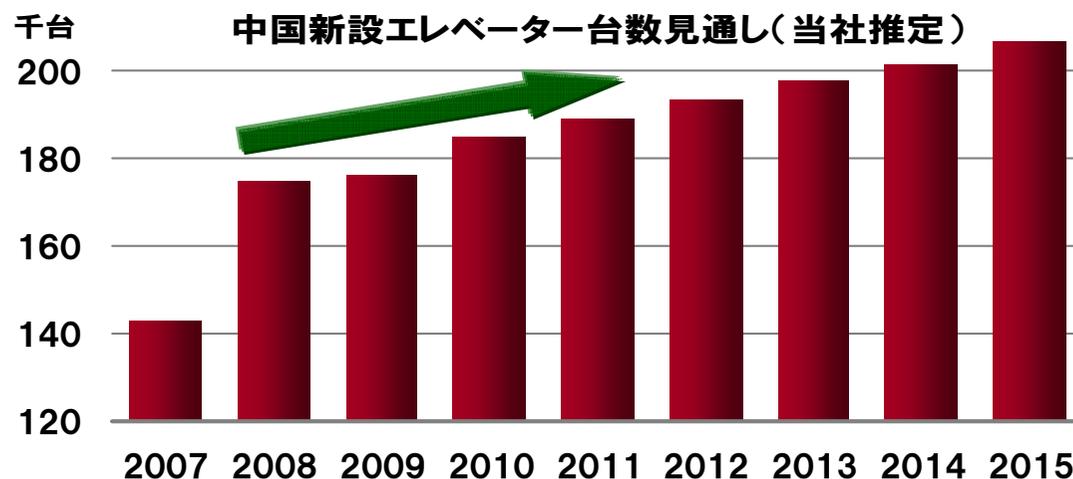
# 海外ビジネス② ベトナム工場(ロープ)も好調

## 東京製綱ベトナムの稼動はフル体制へ

10/3上期に生産能力倍増化(月産350トン)完了、客先認証取得中

### 現状

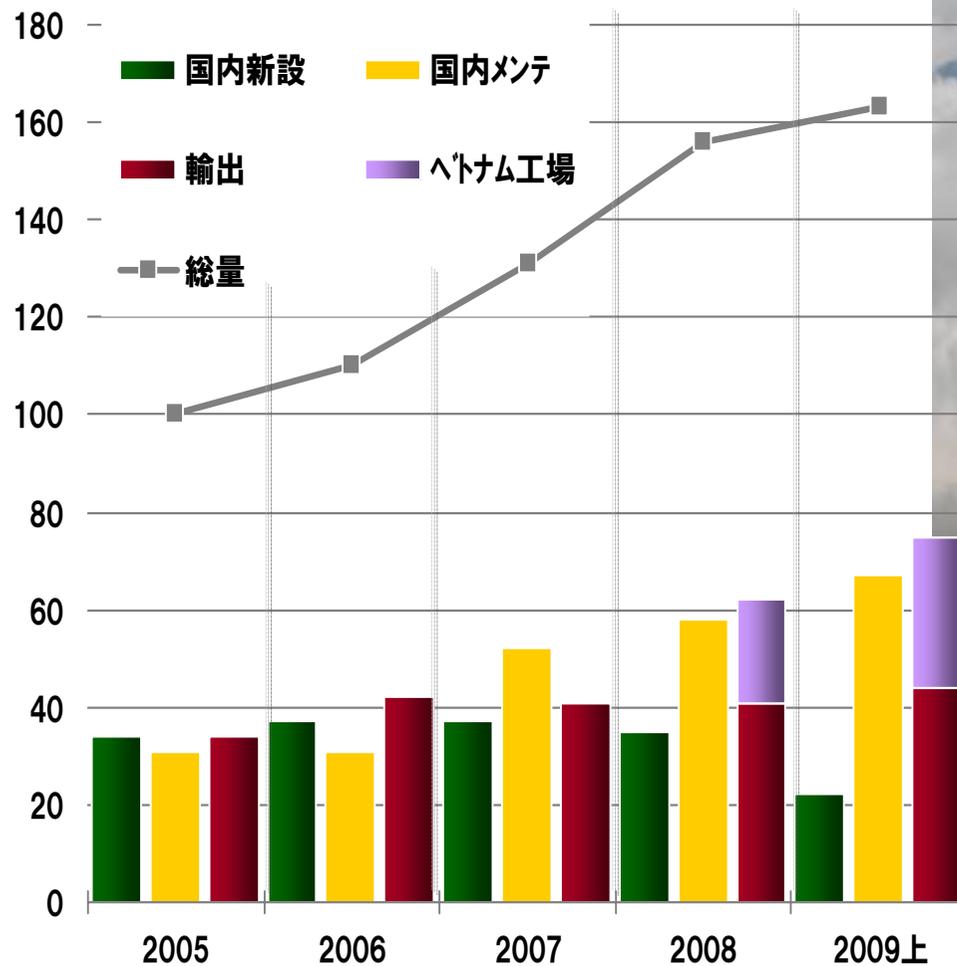
- **中国のエレベータ新設需要**  
景気刺激策等の影響で堅調な成長を維持  
(2010年は上海万博や内陸部建設による需要増加)  
今後、日系エレベータメーカーの現地一貫生産に伴い、  
更なる受注が期待される
- **中国、東南アジアでもロープ交換需要増が今後期待される**



# 海外ビジネス③ 期待されるエレベータ需要案件

## 中国新設需要への対応＋日本国内は取替需要堅調

当社エレベータロープ販売内訳  
( '05年度総量 = 100とした指数)



# 海外ビジネス④ インフラ関連で海外へ進出(1)

## 「環境・安全・防災」関連での海外展開

国内は公共事業抑制の中、「環境・安全・防災」関連は優先度高く、差別化商品中心に増加傾向。但し、趨勢としては国内市場での今後の大きな成長は見込めない。一方、海外でのビジネスチャンスは拡大

新興国の経済発展と世界的景気対策で公共インフラ需要の高まり

当社製品・工法(Made in Japan)への信頼・期待

### 【足許では中央アジア、CIS等でのインフラ整備加速】

- ・2011年冬季アジア大会(開催地:カザフスタン/アルマティ市)
- ・2014年冬季オリンピック(開催地:ロシア/ソチ市)

⇒ **現地密着型の供給・サービス体制準備中**

◎カザフスタン駐在員事務所 H21/6アルマティ市に開設済み

◎ロシア/モスクワ駐在員事務所 H22/年初に開設予定

## 海外ビジネス⑤ インフラ関連で海外へ進出(2)

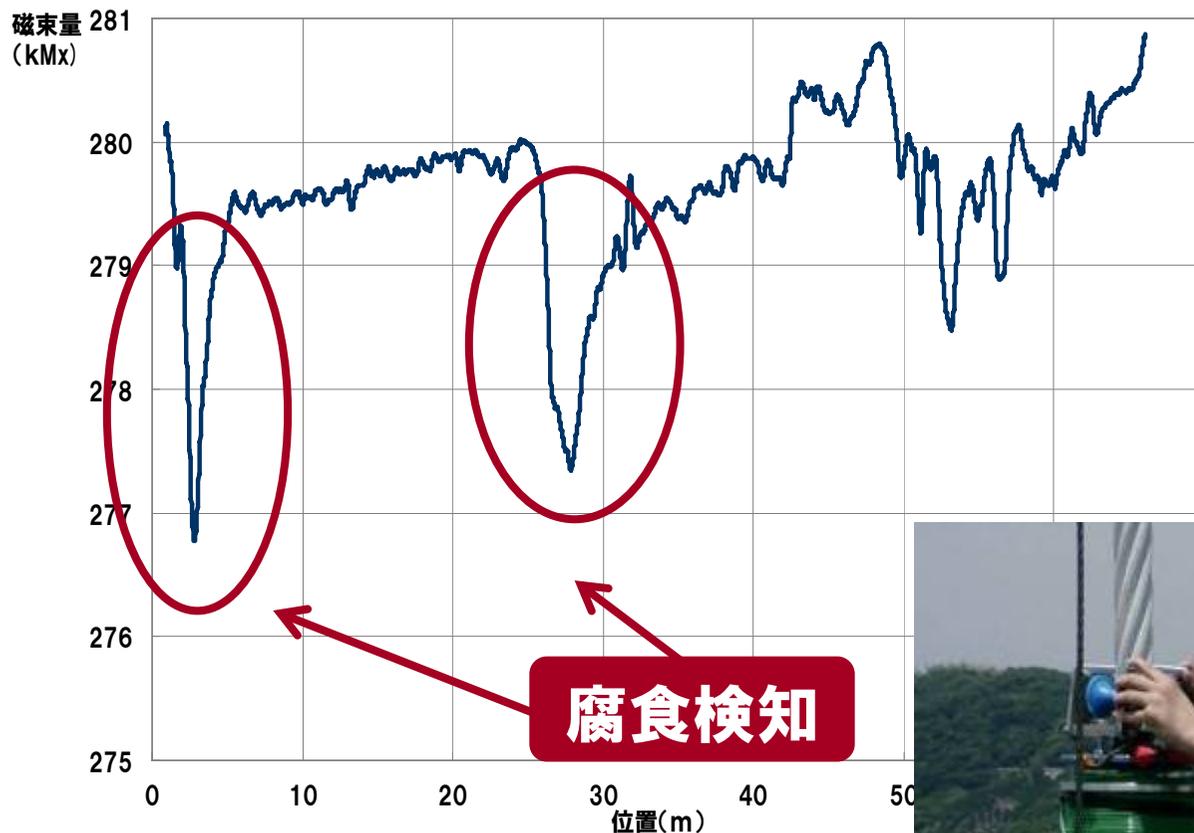
### 「橋梁補修、腐食検査」関連での海外展開

米国において道路・橋梁の腐食劣化問題が顕在化  
⇒オバマ政権下「米国再生法」で  
大規模インフラ投資政策

当社技術をベースにビジネスチャンス拡大

- ①米国道路網におけるコンクリート橋の新設・架け替え用途  
⇒寒冷地での融雪剤による腐食対策として、  
**軽量、高強度、高耐食性のCFCC**  
(炭素繊維複合材ケーブル)の特性活かした営業展開
- ②橋梁ケーブル(PC・吊橋等)腐食の非破壊検査システムとして、  
⇒**全磁束腐食診断技術の展開**(国内では本四連絡橋で活用中)

# (参考資料) 全磁束腐食検査



## 海外ビジネス⑥ 橋梁ビジネスの将来案件

世界各国にインフラ整備のための橋梁新設、  
架け替えプロジェクトが多数存在

### 大型案件

中国（安徽省）/馬鞍山大橋（1.8万トン）

中国（湖南省）/洞庭湖二橋（3.6万トン）

イタリア/メッシーナ海峡架橋（16.0万トン）

など



中国 橋梁ケーブル用ワイヤ工場を拠点に、営業展開中  
【江蘇双友東綱金属製品有限公司（日中合弁・当社35%）】

# 安定的な株主還元を継続

配当額は前期同様の2円50銭を予定

安定配当を最優先

	08/3	09/3	10/3 予定
通 期	2円50銭	2円50銭	2円50銭
配当性向(連結)	33.4%	—	—

# 参考資料

# 当社の主力製品(ロープ・安全関連＋太陽電池関連)



(鋼索鋼線)

**伝統的主力製品**  
(クレーン用ロープ・エレベーターロープなど)



(鋼索鋼線)

**伝統的主力製品**  
(電力・通信ケーブルなど)



(鋼索鋼線)

**自動車タイヤ補強材**  
**太陽電池シリコン切断用ソーワイヤ**



(開発製品)

**安全施設・鋼構造物・橋梁**  
(道路・法面・積雪、橋梁・港湾関係など)



(開発製品)

**各種産業用機械**  
(太陽電池シリコン切断用ワイヤソー含む)

# 個人投資家を意識したHPコンテンツ



トップページから誘導

当社事業内容を  
漫画・イラストで  
わかりやすく解説

日興アイ・アール  
2009年度  
全上場企業HP  
充実度ランキング  
優良サイト



## ご注意

- 本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

東京製綱株式会社

2009年12月